

アスパラガスハウス栽培における定植2～3年目の品種比較

野口 貴・田邊範子^a・沼尻勝人^b・海保富士男・荒木俊光

(商品開発科) ^a現南多摩農業改良普及センター・^b現島しょ農林水産総合センター三宅事業所

【要 約】定植2～3年目において、収量では「シャワー」が優れ、若茎の太さがいずれの収穫時期でも安定している「バイトル」も有望である。

【目 的】

鮮度が品質に直結するアスパラガスは、直売で人気の高い品目の一つである。そこで、アスパラガス数品種を比較栽培し、直売に適する品種を選定する。

【方 法】

アスパラガス4品種を2004年4月にセルトレイに播種し、9月に鉢上げ後、翌年の4月にハウス内へ定植した。栽植距離は、畝間110cm、株間30cmのやや密植とし、1区10株の3反復（一部2反復）とした。施肥量は定植前に10aあたり堆肥2t、化成肥料を3要素成分量で各30kg投入し、立茎期には2～3ヵ月毎に窒素成分量で5kgを施用した。定植後2年目から若茎の収穫を開始した。

【成果の概要】

- 1) 定植2年目の収穫本数は、「バイトル、シャワー、グリーントワー、ウェルカム」の順に多く、A品数も同様の順となった（図1）。
- 2) 定植2年目の収穫重は、「グリーントワー」で若干少なかったほかは同等であり、時期別では3～4月に多く、その後減少して7月にやや増加した（図2）。
- 3) 定植2年目の若茎1本重（未調整重）は「ウィルカム」で大きく、「グリーントワー、シャワー、バイトル」の順となった（図3）。収穫重は収穫が進むにつれて徐々に小さくなった。
- 4) 同様に、若茎径も「ウェルカム」で大きく、「バイトル」で小さかった（図4）。
- 5) 定植3年目の収穫本数は、2年目と同様に、「バイトル、シャワー、グリーントワー、ウェルカム」の順が多かった（図5）。
- 6) 定植3年目の可販品の調整重（収量）は、「シャワー」で大きく、次いで「バイトル、グリーントワー」となり、「ウェルカム」が最も小さかった（図6）。
- 7) 若茎重は、2月収穫では「グリーントワー」、3月では「シャワー」、4月では「ウェルカム」、5月では「バイトル」が大きかった。「シャワー、グリーントワー」は若茎重の変化が大きく、「バイトル」は比較的一定であった。
- 8) 若茎径も「シャワー、グリーントワー」で収穫期ごとの変化が大きく、「バイトル」は太さが安定していた（図8）。
- 9) 以上の結果から、収量では「シャワー」が優れるが、若茎の太さが安定している「バイトル」も有望である。

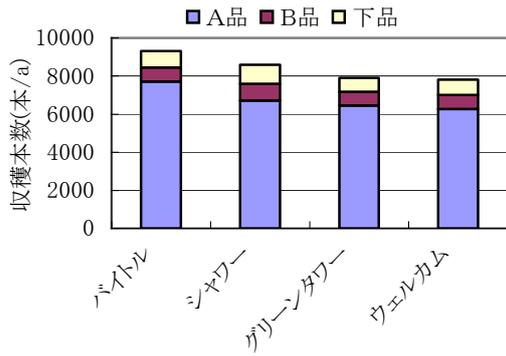


図1 定植2年目の若茎収穫本数

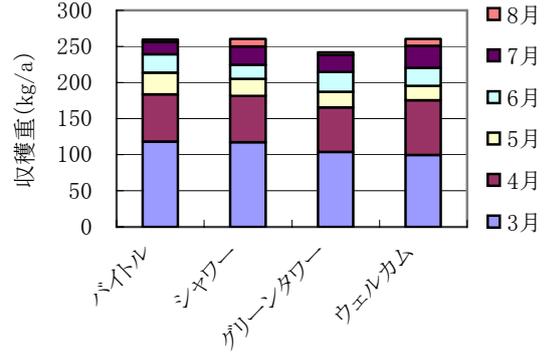


図2 定植2年目の月別の収穫重 (下物を除く)

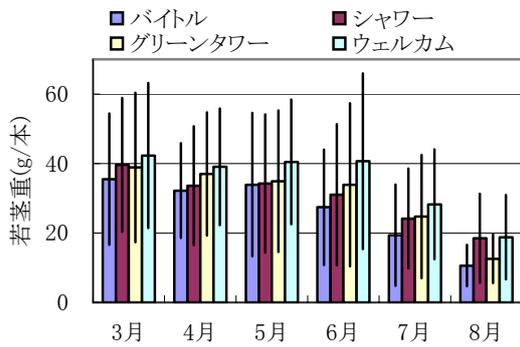


図3 月別の若茎重 (未調整, M±SD)

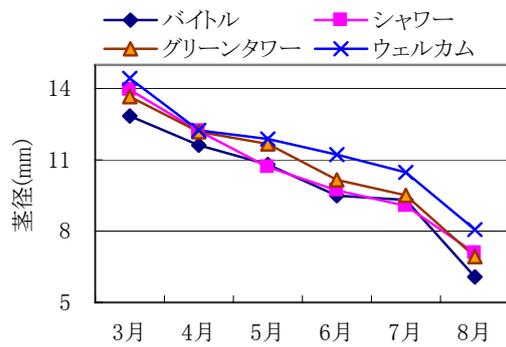


図4 月別の若茎径 (未調整品の基部の太さ)

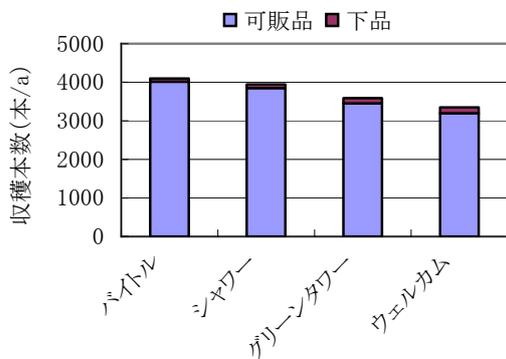


図5 定植3年目の若茎収穫本数

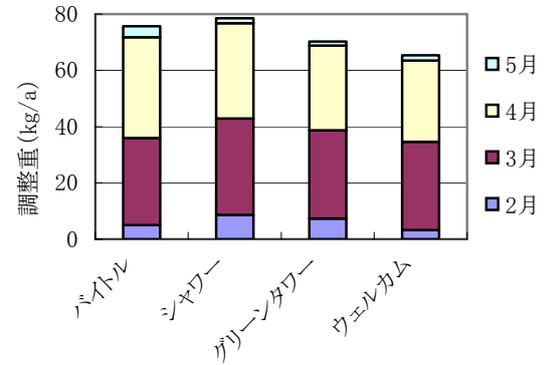


図6 定植3年目の月別調整重 (25cm切揃調整, 除下物)

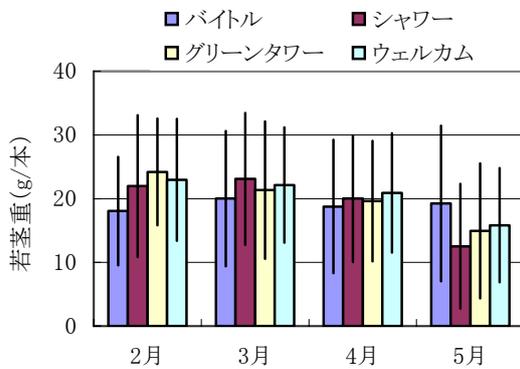


図7 月別の若茎1本重 (25cm切揃調整, M±SD)

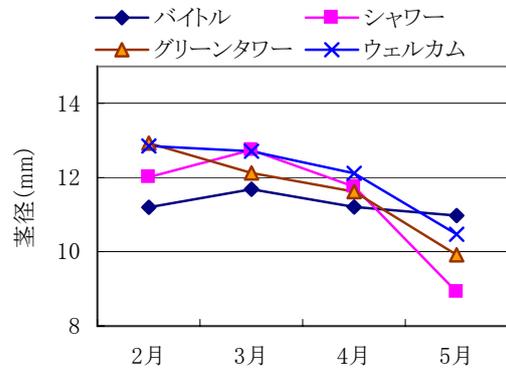


図8 月別の若茎径 (25cm切揃調整, 基部の太さ)